

コミスクだよりNo.5

霧多布地区でめざす子どもの姿
ふるさとを愛し、たくましく生きる子ども

令和8年3月24日(火)発行



この1年間コミスクの活動へのご理解とご協力をありがとうございました。

コミスクとは（コミュニティ・スクール：学校運営協議会の略）

子ども達や地域の輝く未来を創るために、学校、家庭・地域による一体的な取り組みを「社会総掛かり」で実現可能にする仕組みの一つがコミュニティ・スクールです。学校評価や地域協働活動などについても協議が行われ、子ども達が抱えている課題や実態を共有し、地域でどのような子ども達を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンについて熟議（熟慮と議論）し、地域の人々がその目標に向けて学校と協働し、地域人材や資源などを活用した学校運営を目指します。

文部科学省「学校運営協議会設置の手引」から抜粋

2. 今年度の成果と課題

<成果>

- ・会議を計画通りに実施することができた。また、ラジオ体操会、花いっぱいロード、ひまわりの種（絆プロジェクト）、盆踊りの練習等、学校と連携した取組を進めることができた。来年度も継続して取り組んでいく。
- ・コミスクだより（第1号）やスイッチOFFの取組のチラシ、ラジオ体操会の案内を地域に配付することができた。次年度も同様に地域の方にコミスクの活動を知っていただくために町の広報誌と一緒に配付できるようにする。
- ・コミスクの具体的な活動を保護者や教職員に周知することで、コミスクの活動が認知されるようになってきた。
- ・今後も地域の子どもたちがメディアの正しい使い方を身に付けることができるようにスイッチOFFの取組について充実させていきたい。
- ・総合文化センター前の花壇づくりについてCS委員や役場の方のご協力が進めることができた。来年度もマルチ張りなどの協力をお願いしたい。

<課題>

- ・コミスクの会議の予定が木曜日に固定されていたために、授業参観での給食メニューで麺類が多かったり、参加できなかったりするCS委員もいた。来年度は曜日を固定せず、CS委員の都合を合わせて会議の候補日を決めていきたい。
- ・今年度はCS委員が1名少ない活動となった。次年度は定数通りのCS委員数で運営していきたい。次年度の役員改訂に伴い、定数で運営できるように計画していく。

3. 活動報告（12月～2月）概要版

霧小12月～2月活動アーカイブ

12月 公開研究会（12日）

12日は、霧多布小学校と霧多布中学校合同の研究会があり、浜中町内外の先生達50名ほどが来校し、5年生の算数の授業を公開しました。



12月 霧フェスで大盛り上がり

6年生が浜中町を盛り上げるために内容を企画し、お祭りを行いました。在校生、保護者、地域の人で盛り上がりました。



2月 遠隔地区との授業交流

3年生の社会の学習で青森県の浪館小学校と標茶小学校の3校で遠隔授業交流を行っています。地域の良さを交流し合っています。



2月 新1年生体験入学保護者説明会

令和8年度に入学してくる14名の新1年生の体験入学と保護者説明会を行いました。現1年生3名がしっかりお世話をしてくれました。



2月 浜中町学校版ISO授与式

学校として環境へ配慮した取組みが認められ副町長の石塚さんより浜中町ISOの認定書をいただきました。



霧中12月～2月活動アーカイブ

12月 スクールカウンセラー講座

スクールカウンセラーの沼田先生を講師として、自分の気持ちや相手の気持ちを思いやるためのコミュニケーションスキルを学ぶ授業を行いました。「ストレス」の受け止め方や正しい自己評価について、実際に体を動かしたり、沼田先生の問いかけを考えたりしながら、理解を深めました。



12月 防災教育（防災講話）

高田馬場にあるカウンセリングルーム「Circle of Life」の主催者で臨床心理士の岡田太陽さんを講師にお迎えして、震災後「生き抜く」～災害後の心の変化～をテーマに、オンライン授業を行いました。発災後からの被災者の心の変化や、その対処方法を具体的に学びました。

1月 浜中消防署から合格絵馬の贈呈

始業式の放課後に昨年に引き続き、浜中消防署から3年生へ合格絵馬の贈呈がありました。現場で使用された「決して落ちないロープ」にあやかっって手作りされた絵馬は浜中消防署の署長さんから手渡され、受検生に向けてエールを送っていただきました。



2月 全学年情報モラル教室 新入生体験入学・保護者説明会

NTTの職員の方を講師に、オンラインによる情報モラル教室を実施しました。スマホのSNSの利用について、メディアリテラシーや犯罪から身を守る方法などについて学びました。

小学校6年生の児童15名が参加し、社会の体験授業を、保護者説明会では、厚岸警察署から携帯端末を利用したSNSの危険性やフィルタリング機能について説明をしていただきました。その後本校の学習と学校生活の説明を行いました。

4. 令和7年度 第2回学校評価の交流

霧多布小学校		
	成果	課題
生徒	12月実施の学力テストの結果から、昨年度から課題であった思考力・判断力・表現力の部分が改善したり、全国平均を上回った学年もあることから、日常の授業改善の結果と捉えることができる。	全国平均を下回っている教科や学年が多いことから、課題は大きい。来年度も引き続き、各教科の見方・考え方を働かせる授業改善、学校としての取り組みが大切である。学習時間や取り組む内容に目を向けると、目標に達していない児童も多い。
保護者	・小学校、中学校、地域が連携したコミュニティ・スクールの取り組みについての前回よりも高い評価となった。 ・家では、TVやゲーム、スマホなどの利用時間や約束事を決めている。 ・防災教育・安全教育や学校行事の配信、道徳や普通の授業でも高い評価を継続しています。	・メディアの使用について、約束事を作っている家庭は、約90%ですが、「あまり守られていない」「守られていない」と回答が半分以上いる。これからもきまりや時間を意識した接し方ができるように、スイッチ「OFFの取り組み」を継続し、情報発信をしていく。

霧多布中学校		
	成果	課題
生徒	・約8割の生徒が悩みや相談事を相談できる先生がいる。 ・地震や津波などの災害に対する危機意識が高い。 ・約8割の生徒が学校生活が楽しく充実していると感じている。	・三者とも1回目に比べて全体的にポイントが低くなっている。 ・学校の相談体制やいじめへの対応について保護者のポイントが低い。 ・保護者、生徒とも共通して生活習慣、メディアの使用時間に関するポイントが低い。
保護者	・学校は防災教育の充実のポイントが高い。 ・約8割の保護者が地域と連携した体験活動や学習活動が充実していると答えている。	～課題の改善に向けて～ ※相談体制の強化や生徒会活動でのいじめ未然防止の取組等を充実させていきます。 ※今後も健康調査や教育相談で生徒を状況を把握し、生活習慣やメディアの利用時間の改善や家庭学習の習慣化を図ります。 ※生徒を育てるためには保護者の皆様との連携が必要と考えます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

5. コミュニティ・スクール活動報告（2月）

（1）スイッチOFF 2月7日（土）～2月13日（金）

今年度最後の「スイッチOFF」の取組を実施しました。今回も「中学校の定期テストに向けた家庭学習期間」の7日間を設定し、家庭でのメディアの利用時間の制限と家庭学習の充実を目的に行いました。この取組は霧多布地区の皆さんで子どもたちの成長を支えることが目的で行っています。来年度も霧多布地区の皆さんのご協力をお願いいたします。

～霧多布地区のみんなでスイッチOFF～

メディア利用時間コントロール 

スイッチ
OFF 7Days

春休み中もみんな意識しよう！！

6. 令和8年度 コミュニティ・スクールの活動予定

第1回学校運営協議会	令和8年	5月20日（水）
第2回学校運営協議会	令和8年	6月24日（水）
第3回学校運営協議会	令和8年	9月17日（木）
第4回学校運営協議会	令和8年	11月25日（水）
第5回学校運営協議会	令和9年	2月17日（水）

※上記の日程は暫定的なものです。来年度の4月に再度検討します。

学校のホームページも
ご覧ください

霧多布小学校



霧多布中学校



・発行者 霧多布地区学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
事務局 霧多布小学校 TEL 0153-62-2812